



2021年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月3日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド 上場取引所 東
 コード番号 2910 URL http://www.rockfield.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古塚 孝志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 新部 雅彦 TEL 078-435-2800
 四半期報告書提出予定日 2021年3月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第3四半期の連結業績（2020年5月1日～2021年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	32,934	△16.0	933	△44.3	1,095	△36.3	894	△19.5
2020年4月期第3四半期	39,202	1.0	1,675	△13.8	1,718	△13.2	1,110	△21.7

(注) 包括利益 2021年4月期第3四半期901百万円 (△18.6%) 2020年4月期第3四半期1,107百万円 (△19.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	33.64	—
2020年4月期第3四半期	41.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期第3四半期	34,342	27,862	81.1	1,048.12
2020年4月期	33,324	27,801	83.4	1,046.15

(参考) 自己資本 2021年4月期第3四半期 27,862百万円 2020年4月期 27,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	9.00	—	23.00	32.00
2021年4月期	—	9.00	—	—	—
2021年4月期（予想）	—	—	—	11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年4月期の連結業績予想（2020年5月1日～2021年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,974	△7.7	613	29.1	767	29.9	540	179.6	20.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期3Q	26,788,748株	2020年4月期	26,788,748株
② 期末自己株式数	2021年4月期3Q	205,750株	2020年4月期	213,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年4月期3Q	26,580,043株	2020年4月期3Q	26,571,840株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年5月1日～2021年1月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気は著しく悪化しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言解除後は、政府による観光業や飲食業等への支援策の効果もあり徐々に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、国内の感染者数が再び急激な増加に転じたことを受けて、2021年1月には11都府県を対象とした緊急事態宣言が再発出され、未だ景気の先行きは不透明な状況が続いております。

中食・惣菜業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛等により、ご自宅で過ごす時間を充実させる「巣ごもり消費」の需要が高まり、クリスマスケーキやおせち料理が好調に推移する一方で、消費者による中食の利用形態は、リアルの店舗での直接購入からオンラインショップ、宅配サービスの利用など多様化が進み、業態の垣根を越えた競争が激化しております。

このような状況の中、当社グループは「The Mirai Salad Company」として、新たな生活様式の下においても人とのつながりや楽しさを感じられる食卓提案を行い、お客様の豊かなライフスタイルの創造に貢献してまいりました。例年とは異なるコロナ禍でのクリスマス・年末年始を迎えるにあたり、オンラインショップとメンバーズサイトの会員組織の統合とWEBサイトのリニューアルを行うとともに、店頭滞在時間の短縮に繋がるWEB予約の推進や迎春の予約限定商品をオンラインショップでも販売するなど、EC・デジタル領域の活用によるお客様の利便性の向上に取り組みました。店舗におきましては、クリスマスに華やかさを演出しながらもスピーディに購入していただけるパック商品の品揃えを強化したところ、お客様から予想を上回るご支持をいただくことができました。また、アイテム数の集約など、社内サプライチェーンを通じた生産性向上や更なる経費の精査・削減など、抜本的なコスト構造の見直しを軸とした経営体質の強化を行いました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は32,934百万円(前年同期比16.0%減)、営業利益は933百万円(前年同期比44.3%減)、経常利益は1,095百万円(前年同期比36.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は894百万円(前年同期比19.5%減)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の利益の状況につきましては、主に商品の廃棄ロス減少による原価率の改善や、効率的な働き方による店舗スタッフの工数削減等が進んだことにより、2020年12月3日に開示した「2021年4月期第2四半期決算説明資料」の連結営業利益予想を346百万円(増減率59.1%)、連結経常利益予想を354百万円(増減率47.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益予想を368百万円(増減率70.2%)上回りました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		2020年4月期 第3四半期(連結)		2021年4月期 第3四半期(連結)		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
R F 1		百万円	%	百万円	%	%
	サラダ	13,685	34.9	11,447	34.8	83.6
	フライ	5,136	13.1	4,044	12.3	78.7
	その他そうざい	6,161	15.7	5,311	16.1	86.2
	小計	24,983	63.7	20,802	63.2	83.3
グリーン・グルメ		6,811	17.4	6,258	19.0	91.9
いとはん		2,883	7.4	2,304	7.0	79.9
神戸コロッケ		2,194	5.6	1,790	5.4	81.6
ベジテリア		1,035	2.6	588	1.8	56.9
融合		804	2.1	664	2.0	82.6
その他		489	1.2	525	1.6	107.4
合計		39,202	100.0	32,934	100.0	84.0

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて1,017百万円増加し、34,342百万円となりました。これは主に、売掛金の増加2,033百万円、静岡ファクトリー第4棟建設等による有形固定資産の増加1,065百万円、現金及び預金の減少1,847百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて957百万円増加し、6,480百万円となりました。これは主に、買掛金の増加214百万円、未払法人税等の増加219百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）の増加595百万円、賞与引当金の減少221百万円等によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて60百万円増加し、27,862百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加894百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少850百万円等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は81.1%、1株当たり純資産額は1,048円12銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね順調に推移しておりますが、2021年1月の緊急事態宣言の再発出に伴う営業時間の短縮や、不要不急の外出・移動の自粛による影響等により、足元では主に都心・駅を中心に売上高が落ち込んでおります。このような先行き不透明な消費動向を勘案し、2021年4月期の通期業績予想は、前回公表いたしました連結業績予想（2020年12月1日付「2021年4月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」）から変更はございません。

ただし、事業環境の変化等による今後の業績予想に応じて予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,883	12,035
売掛金	1,962	3,996
製品	32	48
仕掛品	80	84
原材料及び貯蔵品	541	547
その他	401	250
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,899	16,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,158	10,014
土地	2,948	2,948
建設仮勘定	2,242	194
その他(純額)	2,266	2,523
有形固定資産合計	14,615	15,680
無形固定資産		
その他	176	173
無形固定資産合計	176	173
投資その他の資産		
その他	1,655	1,552
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	1,632	1,528
固定資産合計	16,424	17,382
資産合計	33,324	34,342
負債の部		
流動負債		
買掛金	591	805
1年内返済予定の長期借入金	340	540
未払法人税等	—	219
賞与引当金	505	283
その他	2,251	2,496
流動負債合計	3,688	4,345
固定負債		
長期借入金	1,320	1,715
その他	513	419
固定負債合計	1,833	2,134
負債合計	5,522	6,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,871	5,874
利益剰余金	16,525	16,569
自己株式	△196	△190
株主資本合計	27,744	27,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	13
為替換算調整勘定	46	51
その他の包括利益累計額合計	57	64
純資産合計	27,801	27,862
負債純資産合計	33,324	34,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
売上高	39,202	32,934
売上原価	16,497	13,782
売上総利益	22,705	19,151
販売費及び一般管理費	21,029	18,218
営業利益	1,675	933
営業外収益		
受取配当金	14	8
保険配当金	17	15
雇用調整助成金	—	127
為替差益	5	—
その他	14	24
営業外収益合計	50	175
営業外費用		
支払利息	6	8
為替差損	—	1
固定資産売却損	—	2
その他	1	2
営業外費用合計	7	13
経常利益	1,718	1,095
特別利益		
補助金収入	—	169
特別利益合計	—	169
特別損失		
減損損失	—	23
特別損失合計	—	23
税金等調整前四半期純利益	1,718	1,240
法人税等	608	346
四半期純利益	1,110	894
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,110	894

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	1,110	894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	1
為替換算調整勘定	△8	4
その他の包括利益合計	△3	6
四半期包括利益	1,107	901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,107	901
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当社の業績に影響が生じております。固定資産の減損及び税効果会計等におきましては、2022年4月期も当該影響が継続するという仮定のもと会計上の見積りを行っております。